エコアクション21

環境経営レポート

(対象期間:2022年1月1日~2022年12月31日)



カイツ自動車株式会社 マツダオートザム新発田



発行日:2023年3月31日

目 次

1,	組織の概要	1ページ
2,	エコアクション21実施体制	2ページ
3,	環境経営方針	3ページ
4,	環境経営目標	4ページ
5,	環境経営計画	5ページ
6,	環境経営目標と実績	6ページ
7,	環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	7ページ
8,	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	8ページ
9,	代表者による全体の評価と見直し・指示	9ページ
10,	その他	10ページ

組織の概要

1.名称及び代表者名

カイツ自動車株式会社 代表取締役 海津博

2.対象範囲及び所在地

•本社 新潟県新発田市中曽根町3丁目13-11

・マツダオートザム新発田 新潟県新発田市中曽根町3丁目13-11

3.環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

·環境管理責任者 常務取締役 小嶋 雅和 TEL 0254-22-4151

事務局長 杉林 和彦 FAX 0254-22-5391

取締役店長 海津 高幸 E-mail <u>info@kaitz.jp</u> •EA21事務局

サービス部 遠藤 直樹経 理 部 星野 鮎美

4.事業内容

・マツダオートザム新発田 マツダブランドの新車販売

・カイツ自動車株式会社

新車・中古車販売・自動車買取り

自動車整備業(車検・点検・整備・修理・メンテナンス)

指定自動車整備事業の指定工場

分解整備事業の認証工場

優良自動車整備事業者の認定工場

部品・用品の販売

・しばたレンタ

自家用自動車の有償貸渡許可事業所

レンタカー貸出

•損害保険代理店

5.事業の規模

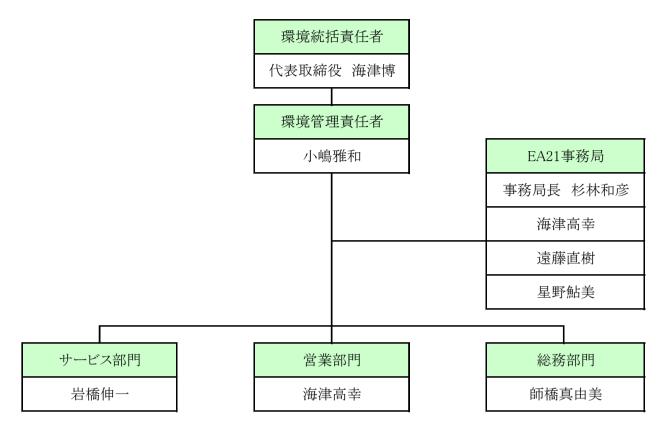
・従業員数
・サービス工場床面積
・ショールーム床面積
・本社事務所1F2F床面積
・他洗車場・第二工場等
445.9㎡
・な46.5㎡
・本社事務所1F2F床面積
459㎡

•年間整備入庫台数 7,625台

6.事業年度

1月1日~12月31日

実施体制



担当者	役割
環境統括責任者	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者
<社長>	・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意
	・環境管理責任者の任命
	・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境経営目標の設定を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	実務上の責任者として、全社の環境取り組みを推進する
	・EMSの構築、実施、管理
	・環境経営方針・実施体制・環境経営目標・環境経営計画書の全従業員への周知
	・環境経営目標・環境経営計画書の策定
	・環境経営計画書、環境関連法令とりまとめリスト等の承認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	環境経営レポートの確認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として全社の環境取組を推進
	・店舗の環境経営取組の指導
	・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成
	・環境データの集計・取りまとめ
	・環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況のチェック
	・環境経営レポートの作成
部門長	全社の環境取り組みを推進する
	・担当部門の環境取り組みの責任者
	・環境経営方針・実施体制・環境経営目標・環境経営計画書の各部門への周知
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営方針

経営方針

カイツ自動車株式会社(マツダオートザム新発田)は、創業の理念「初一念」を堅持し、 自動車販売、自動車整備、保険代理店業等、全ての事業活動において「地域社会と共に 成長する」を念頭に置き、環境問題への対応を経営の最重要課題と位置づけ、より環境に 優しい商品やサービスの提供と環境カーライフの提案による事業拡大と社会貢献に努め ます。また、住みよい地域環境と、地球環境の保全を積極的に図り、事業経営の全領域で 環境保全に配慮しつつ、人や環境に優しい企業を目指します。

行動指針

- 1 環境に関する法規制を遵守します。
- 2 限りある資源を大切にするため、電力及び化石燃料などの省資源・省エネルギー に努め二酸化炭素の排出量の削減を推進します。
- 3 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再使用・再利用活動を推進します。
- 4 排水量削減のため、節水活動を推進します。
- 5 環境改善目標を定め、継続的な環境改善活動を実践します。
- 6 店舗周辺の清掃活動に努めます。
- 7 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、 公表します。

2020年7月1日 カイツ自動車株式会社 (マツダオートザム新発田)

代表取締役 後律 ・

環境経営目標

2022年1月1日~2022年12月31日

		# %£ /~ /~ /=			年度目標					
EA21負荷の自己 チェック コア指数		基準年実績		2022年		2023年		2024年		
			基準年	実績	基準年度比 削減(増大)	目標値	基準年度比削減(増大)	目標値	基準年度比削減(増大)	目標値
		排出量合計(kg-co2)		101,883		98,809		97,790		96,771
		CO2排出量 (kg-co2)	2020	49,864	98%	48,867	97%	48,368	96%	47,869
	電力	使用量 (kwh)	2020	86,721	98%	84,987	97%	84,119	96%	83,252
		CO2排出量 (kg-co2)		49,161	96%	47,195	95%	46,703	94%	46,211
	自動車燃料	ガソリン 使用量(0)	2019	15,935	96%	15,298	95%	15,138	94%	14,979
二酸化炭素排出量	;	軽油 使用量(0)		4,636	96%	4,451	95%	4,404	94%	4,358
	灯油	CO2排出量 (kg-co2)	2019	2,447	96%	2,349	95%	2,325	94%	2,300
		使用量(0)		982	96%	943	95%	933	94%	923
	LPガス	CO2排出量 (kg-co2)	2010	411	97%	399	96%	395	95%	390
		使用量 (㎡)	2019	137	97%	133	96%	132	95%	130
	一般廃棄物	排出量(kg)	2019	4,459	95%	4,236	94%	4,191	93%	4,147
廃棄物 排出量	産業廃棄物	排出量(kg)	2019	19,212	95%	18,251	94%	18,059	93%	17,867
		排出量合計 (kg)		23,671	95%	22,487	94%	22,251	93%	22,014
水使用量	水	使用量(m³)	2019	774	98%	759	97%	751	96%	743
自らの	パックdeメンテ	入庫台数(台)	2019	150	115%	173	120%	180	125%	188
業務関連	エコパーツ 推進	販売個数(個)				推進販	売 2022年12	月まで実績把	握期間	

- (注)二酸化炭素排出係数は、シン・エナジー㈱0.592(R2年報告用)を使用します。
- (注)「環境目標設定書」は、毎年実施する「代表者による見直し」の結果を踏まえ、目標数値を見直します。
- (注)二酸化炭素排出量の内訳となる「電力」「ガソリン」「軽油」「灯油」「LPガス」は年度目標記載数値は参考設定であり個々の目標設定はしません。
- (注)エコパーツ推進目標数値は2022年12月31日迄実績把握期間とする為、その間の目標設定はしません。

環境経営計画

■二酸化炭素排出量の削減

- ①電力使用量の削減
 - 不要な照明の消灯確認
 - ・エアコンの温度設定管理

事務所室内温度 夏:27℃ 冬:23℃ ショールーム室内温度 夏:27℃ 冬:23℃

- ・エアコンフィルター3か月毎の清掃
- ・エアコンの間欠運転制御
- 残業の削減
- ②自動車燃料(ガソリン・軽油)の削減
 - エコドライブの啓発
 - アイドリングストップの徹底
 - 冷暖房機器の適正温度設定
 - ・タイヤの空気圧の点検・不要な荷物チェック
 - ・代車の満タン貸出・満タン返しの励行
- ③灯油使用料の削減
 - ・灯油暖房機の適正使用
 - ・高圧洗浄機の温水使用は冬季間のみ 使用期間:12月~3月

■廃棄物排出量の削減(別紙B)

- ①コピー用紙使用量の削減
 - ・2イン1印刷・両面印刷・裏紙の活用
 - ・コピー使用後のリセットの徹底
 - ·会議でのペーパーレス化
- ②一般ゴミの削減
 - ・分類別に収集し、リサイクルの徹底
 - マイ箸、マイカップ、再利用できる食器を使用
- ③産業廃棄物の削減
 - ・分別の徹底によるリサイクル率の向上
 - ・産業廃棄物の適正処理の確認
 - ・エコパーツの利用推進

■水道使用量の削減(排水量削減)(別紙C)

- ①漏水有無のチェック
 - ・水道メーター伝票の確認・記録
- ②節水活動の推進
 - ・節水の掲示を貼る
 - ・節水器具の取り付け
 - 洗車用ストップノズルの取り付け

■自らが生産・販売・提供する製品の環境性能向上及びサービスの改善

- ① エコカーの販売促進
- ②メンテナンスパック商品の販売促進
- 65月毎の点検・整備を行うにより、車の環境性能向上と使用年数延長が見込まれ、
- 販売→下取り→販売→下取りのサイクルを確立でき循環型社会を目指せる
 - ③エコパーツ販売推進

■その他活動

- ① 店舗周辺の清掃活動
- ② 歩道分離帯の美化活動

環境経営目標と実績

2022年1月1日~2022年12月31日

EA21負荷の自己 チェックコア指数		甘淮	左/甘淮	估			目標	評価	
		本 毕	年/基準/	<u>甩</u>	目標値	実績	達成率	部門	
		排出量合計 (kg-co2)		101,883	98,810	96,571	102%		
		CO2排出量 (kg-co2)	2020	49,864	48,867	48,639	100%	\circ	
	電力	使用量 (kwh)	2020	86,721	84,987	84,679	100%	0	
		CO2排出量 (kg-co2)		49,161	47,195	45,453	104%	0	
	自動車 燃料	ガソリン 使用量(0)	2019	15,935	15,298	13,907	110%	0	
二酸化炭素 排出量		軽油 使用量(0)		4,636	4,451	5,112	87%	×	
	灯油	CO2排出量 (kg-co2)	2019	2,447	2,349	2,199	107%	\circ	
		使用量(0)		982	943	883	143%	\circ	
	LPガス	CO2排出量 (kg-co2)	2019	411	399	280	143%	\circ	
		使用量(㎡)	2019	137	133	93	143%	\circ	
廃棄物	一般 廃棄物	排出量(kg)	2019	4,459	4,236	3,666	116%	\circ	
排出量	産業 廃棄物	排出量(kg)	2019	19,212	18,251	18,854	97%	×	
水使用量	水	使用量(m³)	2020	774	759	739	103%	\circ	
自らの	パックでメンテ	台数(台)	2019	150	173	247	143%	0	
業務関連	エコパーツ 推進	個数(個)				182		\circ	

- (注)化学物質としては、タッチアップで使用する塗料及びシンナーであるが、その扱い・使用量は極めて少量で、購入実績は数年前にさかのぼる事から削減目標とはせず、適正な管理を引き続き 行う事とする。
- (注)エコパーツ推進目標数は2022年12月31日迄実績把握期間とする為、その間の目標設定はしない。
- (注)有価物として販売した金属・廃油・バッテリーは、表中産業廃棄物排出量に含まない。

環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

項目	主な取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
	①不要な照明の消灯確認	0	夏季の室内温度27℃設定では、湿度が多い時の体感が不快 になり、特にショールームでは設定温度を下げる時があった。
	②エアコンの温度設定管理	_	又、コロナ対策による換気の為ドアを開ける事が多く、室内温
	·事務所室内温度 夏:27℃ 冬:23℃	Δ	度が定まらず効率の悪いエアコン活用となった。冬季も気温が 低かった為室内温度23℃では寒く、事務所の作業効率が低下
電力	·ショールーム室内温度 夏:27℃ 冬:23℃	Δ	し、ショールームにおいてもお客様より不満の声が上がった。冬 のひざ掛けなどの利用も検討する。夏の冷房より冬の暖房が
	・エアコンフィルター3ケ月毎の清掃	0	圧倒的に電力を使用するので、時間帯によるこまめな温度管 理を実行する。
	・エアコンの間欠運転制御	0	
	③残業の削減	0	
	①エコドライブの啓発	0	代車の満タン貸出・満タン返しの実行の為、貸出時の説明、代車内への告知物の表示により使用燃料が減少した。コロナ禍
ガ ソ軽	②アイドリングストップの徹底啓発	0	での訪問活動減少、販売台数減少が主な要因と考えられる。 次年度も引き続き活動を続ける。
リ油ン	③タイヤの空気圧・不要な荷物チェック	0	軽油使用量増加の要因は、新たに除雪用ショベルを導入し、2
	④代車の満タン貸出・満タン返しの励行	0	台よる除雪体制に移行した燃料使用量の増加と思われる。
	①灯油暖房機の適正使用	0	目標を達成したので引き続き取り組みを続ける。
灯 油	②高圧洗浄機の温水使用は冬期間のみ	_	
	使用期間:12月~3月	0	
	①コピー用紙使用量の削減	_	一般廃棄物は月ごとに達成、未達成があったが累計では達成 できた。会議でのペーパーレス化も進んでおり、今後パソコン、
	・2イン1印刷・両面印刷・裏紙の活用	Δ	プロジェクター利用を一層拡大し印刷物の削減を図る。両面印刷・裏紙の活用は社内に浸透しているが、2イン1印刷の実行が
	・コピー機使用後のリセットの徹底	0	今後の課題だ。使用済みコピー用紙等、紙類のリサイクルが浸
	・会議でのペーパーレス化	0	透し始め、紙類の廃棄が激減した。産業廃棄物では、鉄類のリサイクルを周知した事により削減できた。特に缶ジュースの空
廃棄	②一般ごみの削減	_	き缶リサイクルは浸透してきた。しかし夏、冬タイヤキャンペーン の実施により、エコタイヤの販売量が増えた半面、廃タイヤの
物	・分類別に収集し、リサイクルの徹底	0	廃棄量が増えた。目標の見直しが必要と思われる。引き続きリ サイクル率の向上を含め廃棄物削減の取組を続ける。
	・マイ箸、マイカップ、再利用できる食器使用	Δ	
	③産業廃棄物の削減	_	
	・分別の徹底によるリサイクル率の向上	0	
	・産業廃棄物の適正処理の確認	0	
	①漏水有無のチェック	_	洗車機による自動車下部洗車をメニュー化した事と、毎週金曜 日に中古車全数を水洗いする取り組みを始めた事で水使用量
	・水道メーター伝票の確認・記録	0	が増加した。2020年に目標値を上方修正した事により目標を 達成した。節水活動は浸透しているが、引き続き節水活動を続
水道	②節水活動の推進	_	けて行く。
水	・節水ポスター掲示	0	
	・節水器具の取り付け	0	
	・洗車用ストップノズルの取り付け	0	
業白	①車両販売時のパックでメンテ販売促進	0	契約台数が増加しているので今後入庫台数は増加する。 2022年12月までエコパーツの販売実績を把握し2023年1月
業務関連	②パックでメンテ満期対象者の継続促進	0	より目標設定へと繋げていく。
連	③エコパーツの販売促進	Δ	
その	①店舗周辺の清掃活動	0	積雪時を除き月初の朝店舗周辺の清掃活動は引き続き実施。
他	②歩道分離帯の美化活動	0	歩道分離帯の花壇化活動は今後、範囲を広げて行く。

主な環境関連法規などの遵守状況の確認および評価の結果、 並びに違反訴訟などの有無

1.環境関連法規等の遵守状況の評価

法規制の名称	法的要求事項	適用される施設/項目	遵守評価
	事業系一般廃棄物の処理	収集・処理基準の遵守	0
 廃棄物処理法	産業廃棄物の保管・表示	保管基準の遵守、保管場所の表示	0
产果初处连 伍	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約業者の締結	0
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管	0
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処理	使用済み自動車	0
家電リサイクル法	廃棄家電の適正処理	テレビ・冷蔵庫・洗濯機	0
消防法	少量危険物貯蔵取扱の届出	少量危険物油脂庫	0
有例 伝	指定可燃物取扱の届出	タイヤ庫	0
水質汚濁防止法	汚水流出時の応急措置と届出	自動洗車機	0
下水道法	特定施設としての設置届出	自動洗車機	0
下小坦伝	付足地放としての故画用山	油水分離槽	0
騒音規制法	騒音に係る特定施設の届出	工場用コンプレッサー	0
風 目 が 門 仏	7.5kw以上のコンプレッサー	上物用コンプレック	
振動規制法	振動に係る特定施設の届出	工場用コンプレッサー	\circ
孤勤烧削伍	7.5kw以上のコンプレッサー	工物用コンプレッリー	O
	空調機器の簡易定期点検		
フロン排出抑制法	空調機器の点検・修理に関する	業務用エアコン	0
	履歴の記録・保存		
労働安全衛生法	安全衛生推進者の選任	安全衛生推進者の選任	0
力側女王伸王伝	健康診断(1回/年)	健康診断(1回/年)	0
道路運送車両法	道路運送車両法の不適合車を無く	受入検査・完成検査の適正運用	0
道路交通法	無免許運転の禁止	免許証の携帯と有効期限	0
古物営業法	盗難品流通の防止	相手方の身分証明書での確認	0
消費者契約法	契約消費者の保護	消費者と締結した契約全て	0

2.違反・訴訟の有無

自主点検の結果、訴訟・苦情等は発生していません。

また、関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

確認日:令和6年3月1日 確認者:小嶋雅和

代表者による全体の評価と見直し・指示

作成日:2022.3.25 作成者:小嶋雅和

対象事業所	カイツ自動車株式会社(マツダオートザム新発田)
活動期間	2022年1月1日 ~ 2022年12月31日

		項目	確認	評価・コメント
	1	環境経営目標の達成状況	達成	二酸化炭素排出量、一般廃棄物、水使用量、パックでメンテ入庫台数
見直し関連情報			未達成	産業廃棄物、軽油使用量
	2	環境経営計画の実施及び運用計画	レ 実施 未実施	環境経営目標及び環境経営計画の策定の とおり実施した。
	3	環境関連法規などの遵守状況	レ 実施 未実施	環境関連法規等取りまとめ表/遵守評価 表のとおり遵守状況に問題は無かった。
	4	外部からの環境に関する苦情や要望	有レ無	起票すべきものは無かった。
	5	問題点の是正・予防措置の実施状況	が無	油水分離槽の水質値が基準値を超えた為早急の対応。
	6	取引先・業界・関係行政機関その他の外部動向	レ 実施 未実施	
	7	その他	が無	

評価者 代表取締役社長 海津 博 実施日 2022.3.20 全体評価・指示・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等) エコアクションの集計期間を当社の決算期間に合わせ 暦年(1月1日~12月31日)に変更した 環境経営

エコアクションの集計期間を当社の決算期間に合わせ、暦年(1月1日~12月31日)に変更した。環境経営目標は概ね達成したが、軽油使用量と産廃排出量が未達であった。軽油の使用量のついては除雪用にショベルを1台購入し2台での稼働となったため増加した。ガソリン使用量と軽油使用量の合算では目標達成してるので目標値は変えないこととする。産廃はタイヤキャンペーンの販売量に合わせ廃タイヤの引取量が増加したためで、タイヤの販売量に合わせ、目標の見直しを実施する。環境保全の意識の高まりはみられるが、なお一層努力するよう全社員と共有を図る。

		見直し項目	変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
代	1	環境経営方針	□ 有 □ 無	
表者によ	2	環境経営目標	レ 有 無	2023年1月よりエコパーツ販売目標を設定する。全ての基準年を2022年に変更する。
よる全体	3	環境経営計画	有 レ無	
体評価・	4	実施体制	有 レ 無	
見直	5	その他のシステム要素	有 無	
)	6	その他(外部への対応)	一有 レ無	

社員でショールーム前の舗道分離帯に百日草を植えました









ベルマークは通年受け付けます



2011年からの合計 25710.9点集まりました

お菓子の箱や包装紙もリサイクル





再使用後の コピー用紙はリサイクル

社内コピーは裏紙を使用



計量•記録



整備工場から出る廃棄物は 10種類に分別しています





段ボール・バッテリー・金属類は再資源化へ









廃タイヤ庫



節水・節電に努めています







消防訓練

いざとなると、思うような行動が とれないことが分かり、定期的 な訓練実施の必要性を感じまし た

消しましょう!!